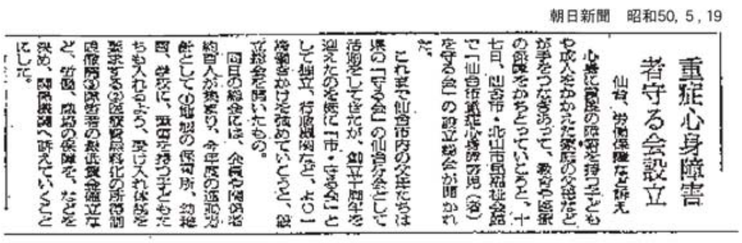
朝日新聞掲載



朝日新聞　昭和50, 5, 19

重症心身障害者守る会設立

仙台、労働保障など訴え

心身に重度の障害を持つ子どもや成人をかかえた家庭の父母などが手をつなぎあって、教育や医療の保障をかちとっていこうと、十七日、仙台市・北山市民福祉会館で「仙台市重症心身障害児（者）を守る会」の設立総会が開かれた。

これまで仙台市内の父母たちは県の「守る会」の仙台分会として活動をしてきたが、創立十周年を迎えたのを機に「市・守る会」として独立、行政機関など、より一層働きかけを強めていこうと、設立総会を開いたもの。

同日の総会には、会員や関係者約百人が集まり、今年度の活動方針として①地域の保育所、幼稚園、学校に、障害を持つ子どもたちも入れるよう、受け入れ体制を要求する②医療費無料化の所得制限撤廃③障害者の就労保障確立など、労働、職場の保障を、などを決め、関係機関へ訴えていくことにした。

昭和50年5月19日

朝日新聞宮城版　昭和57, 3, 22

朝日新聞　昭和57, 2, 21

障害児らの成長写す

写真展・バザー開く

写真展とバザー

昭和57年3月22日

朝日新聞　平成5, 3, 31

「仙台つどいの家」あす開設

親たちの会が運営

市内四番目の「家」

知的ハンディ持つ人や身障者の通所施設

中軽度障害者も受け入れ

平成5年3月31日

手作りパンで社会参加促す

知的障害者ら喫茶店

知的障害者の通所更生施設「仙台つどいの家」（仙台市泉区）が11日、喫茶店「甘味きっ茶めいぷる」を同区南光台7丁目にオープンした。利用者が作ったパンなどを販売し、地域住民とふれ合うことで、障害者の社会参加を促すのが狙いだ。

つどいの家では7年前から、障害の軽い利用者がパンや菓子を作ってきた。めいぷるには、スタッフ4人が心を込めたパンやケーキ、クッキーなどが並ぶ。スタッフの遠山律子さん(29)は「少し緊張するが、地域の人たちと仲良くなれるよう頑張りたい」と張り切っている。

高齢者向けにおはぎ（水曜限定）も販売。月に1回程度、ミニコンサートなどのイベントも開催する予定という。

つどいの家の下郡山和子施設長は「施設の中だけでは自立はなかなか進まない。店で働いて地域の人と交流することによって社会参加できれば」と願う。

めいぷるの営業時間は火曜～土曜の午前10時半から午後6時まで。アクセサリーや衣類などの雑貨も販売する。

関係者から開店を祝福されるめいぷるのスタッフ＝11日、仙台市泉区南光台7丁目で

現職・井口氏3選出馬表明

岩沼市長選

岩沼市の井口経明市長は11日、同市役所で記者会見し、「まだやるべきことがある。04年度から始めた市の新総合計画をしっかり進めるのが自分の責任」と述べ、28日告示の同市長選に3選を目指して立候補する意向を

平成18年5月12日